

一次選定二次評価項目

資料4

評価は、立地特性、生活環境、自然環境、災害危険の4分類24項目を設定し、各項目の重み（合計20点）×評価基準（各5点満点（3段階評価））の合計点数（100点満点）で行うこととする。

分類	項目	評価基準			重み 注1
		適正高い (5点)	適正普通 (3点)	適正低い (1点)	
立地特性	周辺の一般廃棄物最終処分場	1km圏内に最終処分場なし	-	1km圏内に最終処分場あり	1.52
	主な支障物件、河川・水路、地下埋設物	支障となる物件、河川・水路、地下埋設物、立木が少ない、又は、ない	支障となる物件、河川・水路、地下埋設物、立木が中程度	支障となる物件、河川・水路、地下埋設物、立木が多い	1.52
	道路の新設及び改修が必要な距離	新設・改修距離が短い、又は、ない(0～100m)	新設・改修距離が中程度(101～500m)	新設・改修距離が長い(501m以上)	0.55
	排水先からの距離	排水先の河川から近い(0～1,000m)	排水先の河川から中程度(1,001～2,000m)	排水先の河川から遠い(2,001m以上)	0.55
	造成規模 (横断方向の高低差)	造成規模が小さい	造成規模が中程度	造成規模が大きい	0.55
	農地の集団性	農地利用に条件がつく可能性が低い	-	農地利用に条件がつく可能性が高い	0.55
	民有林	該当なし	該当あり（開発が必要な面積が1ha未満）	該当あり（開発が必要な面積が1ha以上）	0.55
	所有者数	土地所有者が少ない(1～10人)	土地所有者が中程度(11～25人)	土地所有者が多い(26人以上)	0.55
	平坦地の確保状況 (跡地利用)	埋立後の土地において勾配0%の平坦地の面積が広い(20,001m ² 以上)	埋立後の土地において勾配0%の平坦地の面積が中程度(1～20,000m ²)	埋立後の土地において勾配0%の平坦地の面積がない(0m ²)	0.23
生活環境	水道水源からの距離	下流側500m以内に水道水源なし	-	下流側500m以内に水道水源あり	1.52
	外周50m以内の家屋の数	0軒	1～5軒	6軒以上	1.52
	外周300m以内の家屋の数	0～25軒	26～50軒	51軒以上	0.55
	搬入ルート上の支障の有無	搬入ルート上に支障なし	搬入ルート上の支障が中程度	搬入ルート上の支障が多い	0.55
	景観変化の影響	近景、遠景、観光・生活環境を総合的に評価し、影響が小さい	近景、遠景、観光・生活環境を総合的に評価し、影響が中程度	近景、遠景、観光・生活環境を総合的に評価し、影響が大きい	0.55
	農用地区域への該当	該当なし	該当あり、土地改良区域（前橋市土地改良事業図）外	該当あり、土地改良区域（前橋市土地改良事業図）内	0.23
自然環境	保安林	該当なし	-	該当あり	1.52
	鳥獣保護区	該当なし	-	該当あり	1.52
	植生自然度	植生自然度1～3	植生自然度4～6	植生自然度7～10	0.23
災害危険	土石流危険区域・土石流危険渓流	該当なし	-	該当あり	1.52
	急傾斜地崩壊危険箇所	該当なし	-	該当あり	1.52
	崩壊土砂流出危険地区	該当なし	-	該当あり	0.55
	土砂災害警戒区域・特別警戒区域（急傾斜）	該当なし	-	該当あり	0.55
	山腹崩壊危険地区	該当なし	-	該当あり	0.55
	軟弱地盤	該当なし	予定地に近接している	該当あり	0.55
一次選定二次評価 合計得点					20

※ 重み（合計20点）はAHP法（階層分析法）を利用し算出しています。

注1 重みは合計が20点になるように端数調整を行っています。

注2 点数＝重み×評価